

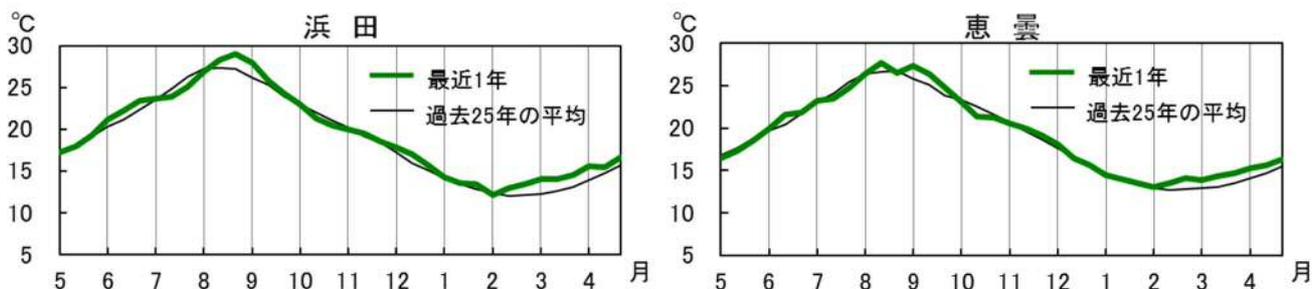


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《4月の海況》



4月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	はなはだ高め	15.9℃	+1.1℃	かなり高め	15.7℃	+0.9℃
中旬	やや高め			やや高め		
下旬	やや高め			やや高め		



《4月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の1割、サバ類は平年の1割でした。隠岐地区ではマイワシ、ウルメイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は59.7トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは6,440トンで平年の4倍、ウルメイワシは331トンで平年の3割でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカ(全体の64%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は348.6kgで平年並みでした。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は34.6kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではケンサキイカ、キダイ、アカムツ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は15.1トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の3.7倍、キダイは平年の1.8倍、アカムツは平年の1.0倍でした。その他、マトウダイは平年の2.7倍と好調でしたが、ソウハチは平年の1.0倍、アナゴ・ハモ類およびアンコウ類は平年の9割、ムシガレイは平年の6割、スルメイカは平年の4割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、ケンサキイカ、アナゴ・ハモ類主体の漁況で、総漁獲量は196トンでした。1統1航海当りの漁獲量は550kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ソウハチは平年の3割、ケンサキイカは平年の4.7倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.1倍でした。その他、マトウダイは平年の3.3倍、キダイは平年の2.4倍と好調でしたが、ムシガレイは平年の1.1倍、アンコウ類は平年の9割、アカムツは平年の6割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではブリ、マアジ、サワラ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は21.6トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の9割、マアジは平年の1.2倍、サワラ類は平年の1.3倍でした。石見地区ではマアジ、ブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は15.8トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の1.2倍、ブリは平年の2割でした。隠岐地区ではブリ、ヒラマサ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は19.0トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の7割、ヒラマサは平年の3.7倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は30.1kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の3割でした。石見地区ではヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は18.4kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ヒラマサは平年の7割でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は23.9kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の8割でした。

【令和3年4月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ、ウルメイワシ	7,341トン	84%	100%	59.7トン	72%	88%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	42.2トン	1944%	247%	348.6kg	96%	129%	○
	西郷	スルメイカ	0.8トン	17%	10%	34.6kg	24%	32%	▲
沖合 底びき網	浜田	ケンサキイカ、キダイ、アカムツ	302トン	96%	117%	15.1トン	106%	107%	○
小型 底びき網	大田	ソウハチ、ケンサキイカ、アナゴ・ハモ類	196トン	102%	62%	550kg	63%	70%	▲
定置網 (大型)	出雲	ブリ、マアジ、サワラ類	280トン	115%	104%	21.6トン	115%	100%	○
	石見	マアジ、ブリ	32トン	71%	51%	15.8トン	71%	67%	▲
	隠岐	ブリ、ヒラマサ	57トン	153%	73%	19.0トン	153%	73%	○
釣り・縄	出雲	ブリ	25.5トン	53%	37%	30.1kg	66%	66%	▲
	石見	ヒラマサ	16.8トン	73%	49%	18.4kg	66%	68%	▲
	隠岐	ブリ	17.1トン	78%	57%	23.9kg	64%	69%	▲

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ